

「衛生叢書」 31-44頁

大正十三年四月

保健衛生調查會第七、八回報告書

保健衛生調查會

国立公衆衛生院附属図書館



\*00018272\*

国立公衆衛生院附属図書館	
受入先	松浦十四郎先生寄贈
受入日	98.3.10
登録番号	72657
所在	

P-A
7.8
17

Library, National Institute of Public

保健衛生調査會第七、八回報告書

目次

第一章 職員	一頁
第二章 特別委員	三
第三章 議事	九
第一節 會議ノ回数	九
第二節 議事ノ件數	九
第三節 總會議事大要	一〇
第四節 特別委員會議事要領	三〇
一、東京市ニ於ケル乳兒調査ニ關スル特別委員會	三〇
二、衛生思想普及ニ關スル特別委員會	三一
三、花柳病豫防ニ關スル特別委員會	四二
四、乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル特別委員會	四三
五、運動、武術、競技等ニ關スル特別委員會	四三

一、調査員  
 二、調査員  
 三、調査員  
 四、調査員  
 五、調査員  
 六、調査員  
 七、調査員  
 八、調査員  
 九、調査員  
 十、調査員  
 十一、調査員  
 十二、調査員  
 十三、調査員  
 十四、調査員  
 十五、調査員  
 十六、調査員  
 十七、調査員  
 十八、調査員  
 十九、調査員  
 二十、調査員  
 二十一、調査員  
 二十二、調査員  
 二十三、調査員  
 二十四、調査員  
 二十五、調査員  
 二十六、調査員  
 二十七、調査員  
 二十八、調査員  
 二十九、調査員  
 三十、調査員  
 三十一、調査員  
 三十二、調査員  
 三十三、調査員  
 三十四、調査員  
 三十五、調査員  
 三十六、調査員  
 三十七、調査員  
 三十八、調査員  
 三十九、調査員  
 四十、調査員  
 四十一、調査員  
 四十二、調査員  
 四十三、調査員  
 四十四、調査員  
 四十五、調査員  
 四十六、調査員  
 四十七、調査員  
 四十八、調査員  
 四十九、調査員  
 五十、調査員  
 五十一、調査員  
 五十二、調査員  
 五十三、調査員  
 五十四、調査員  
 五十五、調査員  
 五十六、調査員  
 五十七、調査員  
 五十八、調査員  
 五十九、調査員  
 六十、調査員  
 六十一、調査員  
 六十二、調査員  
 六十三、調査員  
 六十四、調査員  
 六十五、調査員  
 六十六、調査員  
 六十七、調査員  
 六十八、調査員  
 六十九、調査員  
 七十、調査員  
 七十一、調査員  
 七十二、調査員  
 七十三、調査員  
 七十四、調査員  
 七十五、調査員  
 七十六、調査員  
 七十七、調査員  
 七十八、調査員  
 七十九、調査員  
 八十、調査員  
 八十一、調査員  
 八十二、調査員  
 八十三、調査員  
 八十四、調査員  
 八十五、調査員  
 八十六、調査員  
 八十七、調査員  
 八十八、調査員  
 八十九、調査員  
 九十、調査員  
 九十一、調査員  
 九十二、調査員  
 九十三、調査員  
 九十四、調査員  
 九十五、調査員  
 九十六、調査員  
 九十七、調査員  
 九十八、調査員  
 九十九、調査員  
 一百、調査員

# 保健衛生調査會第七、八回報告書

## 第一章 職員

(大正十三年三月現在)

- |    |          |
|----|----------|
| 會長 | 水野 百鍊 太郎 |
| 幹事 | 湯澤 三 郎   |
| 委員 | 小濱 淨 鑽   |
|    | 富田 愛 次 郎 |
|    | 磐瀬 雄 三   |
|    | 永井 三 郎   |
|    | 高野 岩 三 郎 |
|    | 瀨川 昌 世   |
|    | 三宅 鑛 一   |
|    | 林 春 雄    |

伯爵 柳澤保惠

三矢宮松

富士川游

宮川米次

光田健輔

石津利作

内野仙一

岡村龍彦

北島多一

栗本庸勝

佐伯太矩

山田準次郎

唐澤光德

矢作榮藏

西崎弘太郎

三宅秀

宮入慶之助

井上孝哉

潮守惠之輔

横手千代之助

野田忠廣

北野豐吉

三階堂保則

粟津清亮

宮島幹之助

龜田豊治郎

古瀬安俊

### 第二章 特別委員

一、東京市ニ於ケル乳兒調査ニ關スル件

(大正十三年三月現在)

特別委員長  
委員

三宅秀

瀨川昌世

北島多一

佐伯交矩

唐澤光徳

横手千代之助

野田忠廣

龜田豊治郎

北豊吉

三宅憲秀

磐瀬雄一

永井寛之

林春雄

一、衛生思想普及ニ關スル件

特別委員長

委員

一、運動、武術、競技等ニ關スル件

特別委員長

委員

北島多一

佐伯交矩

唐澤光徳

内野仙一

宮川米次

宮島幹之助

横手千代之助

野田忠廣

永井榮潜

瀨川昌世

林春三雄

佐伯交矩

矢作榮藏

北島多一



一、乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル件

特別委員長  
委員

伯爵

龜田	三階	野田	橫手	潮	三宅	唐澤	佐伯	北島	瀨川	高野	磐瀨	柳澤	三	齋
田	堂	田	手	惠	宅	澤	伯	島	川	野	瀨	澤	空	手
豐	升	忠	千	之	光	光	氏	多	昌	岩	雄	保	全	千
治	保	廣	代	輔	秀	德	矩	一	世	三	一	速	表	升
郎	則	瀧	之	助	瀧	德	矩	世	郎	郎	速	表	表	之

古瀨安俊

第三章 議事

第一節 會議ノ回数

特別委員會	特別委員會	特別委員會	特別委員會
計	計	計	計
四(內一回、十一月) 二月中開會	一六(內一回、十一月) 二月中開會	一六(內一回、十一月) 二月中開會	計
五	六	六	三

第二節 議事ノ件數

特別委員會	特別委員會	特別委員會	特別委員會
計	計	計	計
既濟	未濟	既濟	未濟
二	三	二	一
三	三	二	一

### 第三節 總會議事大要

大正十一年十一月二十四日午前十時開會

出席者

永井 潜 瀨川 昌世 三宅 秀 林 春雄 柳澤 保惠  
宮川 米次 石津 利作 岡村 龍彦 北島 多一 栗本 庸勝  
佐伯 矩 横山 助成 唐澤 光徳 西崎 弘太郎 三宅 鏡一  
宮入 慶之助 潮 惠之輔 横手 千代之助 野田 忠廣 龜田 豊治郎  
古瀬 安俊

幹事

湯澤 三千男 小濱 淨 鏡

技術官

氏原 佐藏 南崎 雄七 宇上 英夫 内藤 和行

備考（水野會長差支ノ爲堀田委員、會長ヲ代理セリ）

### 保健衛生調査ニ關スル事業經過報告案

本編ハ主トシテ大正十年六月二十二日保健衛生調査總會ニ於テ決議シタル大正十年度ニ於ケル豫定事業ノ經過ヲ記述シタルモノナルカ大正五年保健衛生調査會設立以來ノ懸案事項ニシテ大正十年度豫定事業ニ關聯セル事項ハ遡テ之カ沿革ヲ參考ノ爲メ併セ略述セリ

#### 大正十年度 保健衛生調査豫定事業

##### 第一 本年度ヨリ新ニ着手スヘキ事項

一、東京市ニ於ケル乳兒調査ニ關スル件

1、乳兒死亡ニ關スル實地調査

2、乳兒哺育狀況ニ關スル實地調査

一、腺病質並虛弱兒童ニ對スル保養所施設ニ關スル件（外國事例調査）

一、妊産婦兒童保健増進ニ關スル講習會開催ノ件

1、地方技術官及地方長官ノ推薦ニ係ル醫師ニ對スル講習會開催

2、地方長官ノ推薦ニ係ル娼婦、産婆、看護婦ニ對スル講習



一、第一區府縣立癩療養所擴張ニ關スル件

一、地方病ニ關スル件(佝僂病、骨軟化症、象皮病ノ蔓延狀況調査)

一、住居ノ改善ニ關スル件

1、在來家屋ノ衛生狀況調査(都市及農村實地調査資料ヨリ)(調査)

2、外國ニ於ケル住居改善ヨリ來ル影響調査

一、都市公園ノ改善及國立公園ニ關スル調査ノ件

一、都市衛生狀態實地調査ノ件

一、農村衛生狀態實地調査ノ件

一、各地方廳ニ於ケル農村衛生狀態實地調査ノ聯絡指導ノ件

一、農村ノ飲用水改善ニ關スル件

一、運動武術體育競技其ノ他積極的保健施設ノ利害及其ノ獎勵方法ニ關スル調査ノ件

一、青年團體、在郷軍人會、處女會、婦人團體等ノ保健衛生的ノ活動並獎勵方法ニ關スル調査ノ件

一、衛生會、衛生團體等ヲ活動並獎勵方法ニ關スル調査ノ件

一、衛生思想普及ニ關スル件

1、保健衛生宣傳班ノ組織(通俗衛生講演會ノ巡回附設ノ兒童展覽會ト關聯シ巡回ノコト)並ニ報告書

- 2、衛生讀本編纂ノ着手(材料蒐集、委員選定、細目決定)
- 3、通俗衛生普及ノ爲小冊子又ハポスターノ發行

### 第二 前年度ヨリ繼續事業

一、花柳病豫防法制定ニ關スル調査ノ件

一、寄生蟲病及マラリア病ノ撲滅ニ關スル獎勵ノ件

一、結核、花柳病、癩、精神病其ノ他注意スヘキ特殊疾患ニ關スル各國制度ノ事例調査ノ件

一、大正十年各地方ニ於ケル保健衛生ニ關スル概況調査ノ件

一、都市計劃上ニ於ケル衛生施設改善狀況ニ關スル各國制度事例調査ノ件  
以上ノ決議ニ基ク各事項ニ付テ之ヲ調査シ經過ヲ略述スルハ左ノ如シ

一、東京市ニ於ケル乳兒調査ニ關スル件

1、乳兒死亡ニ關スル實地調査

2、乳兒哺育狀況ニ關スル實地調査

乳兒死亡率減退ノ根本策確立ノ爲大正五年保健衛生調査會ノ設置ニ際シ特ニ乳兒、幼兒、學齡兒童及青年ノ保健衛生ニ關シ一部門ヲ設ケ妊産婦兒童ニ對スル社會的施設ヲ始メ小兒ノ疾病、初生兒ノ體重

健康小兒ノ體格検査等其ノ他各般ニ亘リ學理的調査ヲ行ヒタリシカ大正十年度ニ於テハ都市ニ於ケル乳兒死亡原因 産婦初生兒ノ保育狀況ノ實地調査ヲ計劃セリ大正十年六月二十二日總會ノ決議ニ依リ部制ヲ廢止セルヲ以テ新ニ本件ニ關シ特別委員ヲ設ケ同年七月三回ノ委員會ヲ開催シ審議ノ結果一定ノ調査事項(參考資料一、二參照)ヲ決定シ同年八月十六日之カ調査ニ從事スヘキ職員ヲ任命シ九月五日ヨリ約一ヶ月間調査上必要ナル基礎的事項ノ事務講習ヲ行ヒタリ、而シテ實地調査ノ執行ニ關シテハ比較便宜多キ警視廳ニ委託シ同年十二月一日ヨリ本所、赤坂、日本橋ノ三區ヲ選定シ調査ヲ開始シ既ニ蒐集シタル調査票ハ乳兒死亡ニ關スル調査票一、五七九枚産婦及初生兒保育ノ狀況ニ關スル調査票九三六枚計二、五一五枚ニ達セルカ目下引續キ調査中ニ屬ス而シテ蒐集シタル調査票ニ基ク成績ノ大略ハ參考資料三ヲ參照セラレタシ尙乳兒死亡原因ニ關シ參考資料トシテ大正十年度以降ニ調査シタル事項左記ノ如シ、

- 1、東京各區ニ於ケル生産及死亡
- 2、ベルリン市ニ於ケル第六回ドイツ乳兒保護會議ノ狀況
- 3、佛國フエカン市ニ於ケル乳兒死亡率ニ對スル奮闘ノ四十年
- 4、乳兒保護婦トシテノ産婆
- 5、伯林市醫務局保護婦業務報告

- 6、ニュートーク市ニ於ケル乳兒死亡率
- 7、富者ト貧者トニ於ケル乳兒死亡率
- 8、伯林市ニ於ケル乳兒死亡
- 9、パリ市ニ於ケル貧困ト死亡率殊ニ乳兒死亡率トノ關係

一、腺病質並虛弱兒童ニ對スル保養所施設ニ關スル件  
 本年度ニ於テハ外國事例ノ調査ヲ爲スコトニ決議シ既ニ調査シタル事項左ノ如シ

- 1、スカンデナ并アニ於ケル兒童ノ結核ニ對スル防遏施設
  - 2、アイルランドニ於ケル兒童ノ結核ニ對スル豫防治療施設
  - 3、ス井スニ於ケル兒童ノ結核ニ對スル防遏施設
  - 4、ドイツニ於ケル兒童ノ結核
  - 5、グランシェ院ト結核防止ノ事業
  - 6、ドイツニ於ケル兒童療養所一覽
  - 7、フランスニ於ケル兒童ノ結核
- 一、妊産婦兒童保健増進ニ關スル講習會開催ノ件
- 1、地方技術官及地方長官ノ推薦ニ係ル醫師ニ對スル講習

2、地方長官ノ推薦ニ係ル娼婦、産婆、看護婦ニ對スル講習

地方長官ノ推薦ニ係ル衛生技術官、社會事業ニ從事シ又ハ從事セシメトスル職員、娼婦、産婆、看護婦及女子師範學校、高等女學校並高等小學校等ノ家事科教員ヲ包括シ大正十一年三月二十一日ヨリ同月三十日マテ講習會ヲ東京ニ於テ行ヒタリ、講習終了人員二百十六名、尙大正十一年度ニ於テハ全國ヲ三分シ仙臺、福岡、大阪ノ三ヶ所ニ於テ之カ開催ノ計劃ニシテ既ニ十月二日ヨリ仙臺ニ於テ開催シ同月十日終了セリ講習終了人員八十八名ナリ

一、第一區府縣立癩療養所擴張ニ關スル件

大正五年本會設立ノ當時本病ノ爲メ特ニ一部門ヲ設ケ本病豫防撲滅ニ關スル根本策ニ付鋭意調査ヲ進メツ、アリシカ大正九年本會ハ本病ノ撲滅ヲ期スルタメ療養ノ資力ナキ患者約一萬人ヲ收容スルヲ必要トシ現在府縣立癩療養所ノ擴張ヲ行ヒ一面府縣立療養所ニ於テ處置困難ナル患者ヲ收容スル爲メ國立癩療養所ヲ建設スヘキ旨ヲ決議セリ之カ實行ニ付テハ到底今直チニ之カ實施ヲ見ルノ困難ナルニ依リ不取敢第一期計劃トシテ十ヶ年間ニ現在療養所ノ收容力ヲ合セ五千人ヲ收容スルノ擴張計劃ヲ立テタルモ財政ノ狀況ニ依リ僅カニ其ノ一部ノ實現ヲ見ルニ過キス即チ大正十年度ニ於テハ第一區全生病院ニ對シ二百五十人ノ收容ニ要スル敷地ノ買収及百人ノ收容ニ要スル病舎ノ建築ヲ行ハシメ續テ大正十一年度ニ於テハ百五十人ヲ收容スルニ要スル病舎ノ建築ヲ行ハシメツ、アリ、又第五區九州療養所

ニ對シテハ大正十一年度ニ於テ二百五十人ノ收容ニ要スル敷地ヲ買収セシメツ、アリ

一、地方病ニ關スル件(尙癩病、骨軟化症、象皮病ノ蔓延狀況調査)本件ニ關シテハ不取敢地方一般ノ狀況ヲ知ルタメ大正十年八月一日付ヲ以テ衛生局長ヨリ左記事項別ニ依リ各地方長官ニ對シ照會シ之カ回答ニ基キ調査整理シ目下印刷中ニ屬ス

1、本病ニ關スル沿革

2、蔓延地域(書面報告以外ニ管内地圖ニ彩色ヲ施シ蔓延地域ヲ示スコト)

3、最近ニ於ケル患者發生狀況並郡市別患者數(實數調査不能ナレハ可成正確ニ近キ推定數)

4、原因、症候、療法等ニ付參考トナルヘキ主ナル事項

5、從來貴廳又ハ專門研究家ニ於テ施設調査サレタルコトノ有無若シ有リトセハ其成績概要

一、住居改善ニ關スル件

1、在來家居ノ衛生狀況調査(都市及農村保健衛生實地調査成績ノ一部)

2、外國ニ於ケル住居改善ヨリ來ル影響調査

第一號ニ付テハ大正七年以降本省ニ於テ直接實施シタル農村保健衛生實地調査ニ於テ方向構造、一人平均、建坪一人平均宅地坪、一人平均疊數、汚水雨水ノ排除狀況乾燥地、濕潤地、窓ノ廣狹ト建坪面積ノ關係、換氣、採光、床ノ高サ等ヲ調査セリ、成績ノ詳細ハ參考資料四ヲ參照セラレタシ

第二號ニ付テ調査シタル資料左ノ如シ

- 1、不良住宅ノ健康ニ及ホス影響ニ就テ
- 2、住宅ト疾病死亡

一、都市公園ノ改善及國立公園ニ關スル調査

本件ニ關シテハ上高地、白馬嶽、溫泉嶽、阿蘇山、日光、富士箱根、大和大台ヶ原山ヲ中心トシテ左記事項ニ關スル調査ヲ行ヒタリ(參考資料五參照)

一、候補地ニ關スル現況調査

位置及交通、氣候、地勢地質、動植物、史蹟名稱、關係都市村落

二、公園ニ於ケル保健的施設ニ關スル調査

公園區域ノ決定、公園道路ノ設定並交通機關ノ設備風致ノ保存改良施設、宿泊休憩設備、運動娛樂設備、教化施設

三、公園ノ設立及維持ニ關スル調査

都市公園ニ付テハ東京市内ノ遊園ヲ調査スルノ計劃アルモ日時等ノ關係上未ク調査ニ着手セズ

一、都市衛生狀態實地調査ノ件

大正五年本會設立當時農村衛生狀態ニ付テハ特ニ一部門ヲ設ケ調査審議シツ、アリシカ都市ニ付テ

ハ特ニ部門ナキヲ以テ大正七年改メテ農村ノ部門ニ都市ヲ加ヘ都市及農村衛生狀態トナシ同年十一月ヨリ大正九年十二月ニ亘リ高野委員擔任ノ下ニ東京市京橋區月島ニ於ケル一區域ヲ選定シ主トシテ熟練職工ニ對シ左記事項ニ付實地調査ヲナシ大正十年十二月之カ成績ノ一部ヲ發表シタリ

一、調査目的物及事項

多數ノ熟練職工家族ノ團聚スル地域ヲ選ヒ

一、其ノ住居狀態

二、家計狀態

三、小兒ノ健康狀態

四、既往ニ於ケル生産、死産及疾病ノ狀態等

大正十年六月二十二日總會ニ於テ決議シタル大正十年度事業中ノ都市衛生狀態實地調査ニ付テハ當時特別委員ニ附託シタルモ調査方法、調査區域及調査事項等ニ關シテハ未ク具體的成案ヲ得

一、農村衛生狀態實地調査ノ件

農村衛生狀態ノ調査ニ關シテハ本會設立當時既ニ之ヲ實地調査ノ必要ヲ認メ宮入委員擔任ノ下ニ山梨縣下ニ於テ着手シタルヲ始メトシ大正七年各部聯合主査會ノ決議ニ基テ同年度以降ニ於テ村ヲ單位トシ實地調査ニ着手シ昨年總會以後ハ島根群馬兩縣下ノ農村ニ付テ調査セリハ

而シテ今日迄ニ終了ヲ告ケタルモノハ全國九ヶ村ニシテ之ヲ府縣別ニスレハ静岡、山口、福井、秋田、愛媛、奈良、佐賀、島根、群馬ノ九縣ナリ(參考資料六參照)詳細ナル成績ノ一部之ヲ發表セリ

一、各地方廳ニ於ケル農村保健衛生實地調査ノ聯絡指導ノ件

大正十年四月地方衛生技術官會議ニ際シ本省ニ於テ從來實施シタル調査方針ニ基キ各管下ノ農村ニ付テ保健衛生實地調査ヲ實施スルノ協議整ヒ調査標準及指針ヲ本省ヨリ印刷配布シタル外可成本省ヨリ實施ニ際シテハ打合せノ爲技術官ヲ派遣セリ而シテ大正十年度ニ於テ施行シタル府縣ハ一道三府三十一縣三十八ヶ村ニシテ(參考資料六參照)大正十一年度ニ於テ實施シ若ハ計劃アルハ一道二府二十七縣(參考資料六參照)三十五ヶ村七十三ヶ村ナリ

一、農村ノ飲料水改善ニ關スル調査ノ件

大正十年六月二十二日保健衛生調査會總會ニ於テ佐伯委員ヨリ本事項ノ急務ナルヲ力説シ正規ノ贊成アリテ豫定事業中ニ加ヘ同委員擔任ノ下ニ原案ヲ作成シ特別委員ニ諮問スルコトニ決定シタルモ未タ具體案ノ作成ヲ見ス

一、運動、武術、體育、競技其ノ他積極的保健施設ノ利害及其ノ獎勵方法ニ關スル調査ノ件

大正十年六月二十二日日本會總會ニ於テ本事項ヲ特別委員ニ附託シ爾後三回ノ特別委員會ヲ開催シ運動體育、競技ノ普及獎勵、宣傳並利害等ニ關スル事項ニ付、永井、林、北ノ三委員ニ於テ擔任スルコト

ニ決定シタルモ未タ具體的成案ヲ得ス尙參考トシテ各地方ニ於ケル運動、武術、體育等ヲ目的トスル青年團其ノ他ノ諸團體ノ狀況ヲ知ラムカ爲大正十年三月二十二日付ヲ以テ各地方長官ニ照會ヲ發シ之カ回答ニ基キ調査シタル團體數四千八百八十五、會員數八十九萬四千八百四十人(參考資料七參照)ヲ算セリ

一、青年團體、在郷軍人會、婦女會、婦人團體等ノ保健衛生的活動並獎勵方法ニ關スル調査ノ件

本件ニ付イテハ地方一般ノ現況ヲ知ラム爲不取敢婦人衛生會並婦人團體等ニ關シ大正十年四月二十二日付ヲ以テ各地方長官ニ照會ヲ發シ之カ回答ニ基キ調査シタルニ團體數五百五十七會員數九萬六千四百十五人(參考資料八參照)ヲ算セリ

一、衛生會、衛生團體等ノ活動並獎勵方法ニ關スル調査ノ件

本件ニ付テハ地方一般ノ現況ヲ知ラム爲不取敢大正十年五月六日付ヲ以テ各地方長官ニ照會ヲ發シ之カ回答ニ基キ調査シタルニ團體數二百五十三、會員數八萬三千四百九十八人(參考資料九參照)ヲ算セリ

一、衛生思想普及ニ關スル件

- 1、保健衛生宣傳班ノ組織
- 2、衛生讀本編纂ノ着手(材料蒐集、委員選定、細目決定)
- 3、通俗衛生普及ノ爲小冊子又ハポスターノ發行

大正十年六月二十二日保健衛生調査總會ニ於テ衛生思想普及ニ關スル特別委員ヲ選定シ爾來數回ノ特別委員會ヲ開キ第一號ニ付テハ國民保健ニ關スルフィルムヲ調製スルコトニ決定シ同年八月活動寫眞機ヲ購入スルト共ニ國民保健向上ニ關スルフィルム(參考資料一〇参照)ヲ作製シ東京市内及近縣ニ於テ希望ニ應シ宣傳ニ努メ一面右フィルムヲ複製シ各地方へ貸與ヲ爲シツ、アリ而シテ今日迄ニ之ヲ利用シタル狀況ヲ記スレハ映寫府縣三府二十三縣、映寫地百八十ヶ所映寫日數三百十四日觀覽者二十六萬七千人ヲ算スルノ實況ナリ(參考資料一二参照)第二號ニ付テハ既ニ三回ノ小委員會ヲ開催シ永井佐伯、三宅、横手、宮島ノ各委員ニ附託シ細目執筆中ナルモ未タ横手委員以外ハ當局ニ提出ナシ第三號ニ付テハ大正十年七月以降瀨川、磐瀬、唐澤、北島ノ各委員及石原忍氏ニ依頼シ夏と子供、冬と子供、お産の前後、醫師の來る迄、マラリアの豫防及近視の豫防ノ六種ヲ編纂發行シ各方面ニ配布シ一面希望者ニハ印刷所、大日本私立衛生會等ヲシテ實費ニテ印刷ノ需メニ應セシメタル結果大正十年十月末日迄ニ普及シタル部數ハ九十三萬七千四百五十三部(參考資料一三参照)ニ達セリ、其ノ他大正九年十月本省主催ノ下ニ開催シタル兒童衛生展覽會ニ於テ出品陳列シタル兒童衛生ニ關スル參考資料ヲ貸與シ各府縣ニ於テ右展覽會ヲ開催シタルハ現今迄ニ一道二府二十四縣開催地四十八ヶ所會期延日數三百七十八日入場總人員二百八萬千餘人ニ達シタルノ狀況ナリ(參考資料一四参照)

一、花柳病豫防法制定ニ關スル根本的調査ノ件

本項ニ付テハ大正五年保健衛生調査會設立當時既ニ一部門ヲ設ケ調査研究中ナリシカ大正十年六月二十二日總會ノ決議ニ基キ部制ヲ廢止スルト共ニ當時懸案事項ニ付テハ特別小委員ニ附託シ同委員會審議ノ結果ハ從來花柳病ノ部門ニ屬シタル委員ヲ以テ特別委員トシ審議續行ノコトニ決定セリ、爾來數回ノ特別委員會ヲ開催シ審議シツ、アルモ未タ具體的成案ヲ得ス目下調査審議中ナリ

一、寄生蟲及マラリア病ノ撲滅ニ關スル獎勵ノ件

寄生蟲ニ付テハ大正八年以降、マラリア病ニ付テハ大正九年度以降各地方應ニ對シ一定條件ノ下ニ驅除撲滅ヲ勵行セシメ其ノ要シタル道府縣ノ支出額ニ對シ國庫ハ三分ノ一ノ補助ヲ與ヘ以テ之カ豫防撲滅ヲ獎勵シツ、アリ而シテ大正八年度以降補助シタル總額ハ大正八年度一萬四千六百六十二圓、大正九年度一萬九千八百九十二圓、大正十年度三萬九千二百一圓ナリ(參考資料一四参照)

一、各地方ニ於ケル保健衛生ニ關スル概況調査ノ件

大正七年度以降每年各地方ニ於ケル保健衛生調査ノ概況ヲ知ラムカ爲其々年ニ於テ着手シ若ハ完成シタル事業ノ概況翌年度ノ調査計劃及其ノ實行豫算ノ三事項ニ付キ回答ヲ求メ調査抄録シツ、アリ

一、結核、花柳病、癩、精神病、其他注意スヘキ特殊疾患ニ關スル各國制度ノ事例調査ノ件

大正七年以來引續キ參考資料ト認ムヘキ各國ノ法令制度事例等ヲ調査セシメツ、アリ、大正十年度ニ於テハ新ニ調査シタル參考資料左ノ如シ

- 一、歐洲各國ニ於ケル花柳病豫防施設ノ概況
  - 一、グランジエ院ト結核防止ノ事業
  - 一、優生學及優境學ト結核問題
  - 一、都市計劃上ニ於ケル衛生施設改善狀況ニ關スル各國制度事例調査ノ件
- 本事項ニ付テハ大正七年以來參考トナルヘキ資料ノ調査ヲ爲シツ、アリ大正十年度ニ於テ調査シタル資料左ノ如シ
- 一、英國ニ於ケル住宅地域ト住宅數ノ制限並菜園及貸地
  - 一、コロンビア洲ニ於ケル兒童ノ運動遊戯ニ關スル施設
  - 一、英國ニ於ケル住宅ノ分類ト型式

保健衛生調査ニ關スル事業經過報告ニ添附シタル參考資料目次

- 一、産婦及初生兒保育狀況調査票
- 二、乳兒死亡調査票
- 三、自大正十年二月一日 東京市ニ於ケル乳兒調査成績
- 四、農村ニ於ケル住宅ニ關スル調査

72  
1355A  
地方保健衛生會  
地方保健衛生會  
地方保健衛生會

- 五、國立公園ニ關スル調査
- 六、農村保健衛生實地調査狀況
- 七、運動、武術、體育、團體ニ關スル調査
- 八、婦人衛生會並婦人團體ニ關スル調査
- 九、各地方ニ於ケル衛生會並衛生團體等ニ關スル調査概況
- 一〇、衛生思想宣傳用活動寫真フィルム目次
- 一一、衛生思想宣傳用活動寫真ニ關スル一覽表
- 一二、衛生思想宣傳用小冊子印刷配布調
- 一三、兒童衛生展覽會ニ關スル一覽表
- 一四、人體寄生蟲及原蟲豫防撲滅並驅除獎勵費調

(第一號議案) 乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル件

我國ニ於ケル乳兒及幼兒ノ死亡率ハ海外文明國ニ比シ著シク高率ニシテ然モ比年遞増ノ傾向ニ在リ斯ノ如キハ獨リ小兒ノ保健狀態不良ナルノミナラス一般國民ノ體格及體力ノ劣弱ナルヲ示スモノト謂フヘシ依テ乳兒及幼兒ノ死亡率ノ低減ヲ圖ルハ現下切要ノ時務ナリト認ム之カ方策如何

第一號議案ニ添附シタル參考資料目次

- 一、乳兒死亡率累年比較
- 二、日齡月齡別乳兒死亡(全國)
- 三、原因別乳兒(一歲迄)ノ死亡(全國)
- 四、幼兒(一歲乃至五歲)死亡率比較
- 五、原因別幼兒(一歲乃至五歲)ノ死亡(全國)
- 六、地方別乳兒死亡ト肺結核死亡(大正八年)
- 七、地方別乳兒死亡ト醫師ノ分布(大正八年)
- 八、地方別乳兒死亡ト產婆ノ分布(大正八年)
- 九、農村ノ乳兒死亡(內務省農村衛生狀態實地調査成績ノ一部)
- 一〇、道府縣小兒(五歲以下)死亡ト總死亡トノ比較

(第二號議案) 運動、競技、武術其ノ他積極的體力増進施設獎勵ニ關スル建議

(運動、武術、競技等ニ關スル特別委員會提出、此所ニハ便宜建議案ヲ省畧シ確定議ノミヲ掲ク) 運動カ體力ノ増進上顯著ナル効果ヲ齎スハ改メテ言フ要セス歐米先進國ニ於テハ夙ニ官民擧テ盛ンニ

各種ノ運動競技ヲ獎勵シ積極的ニ國民體力ノ増進ニ資シ併セテ剛健敢爲ナル精神ヲ涵養シテ國力發展ノ素地ヲ培ヘリ之ヲ英米ニ見ルニ由來運動ニ關スル國民的精神ノ普及ハ既ニ周知ノ事實ナルカカ列強ニ於ケル戰後運動熱ノ勃興ハ更ニ驚クヘキモノアリ即チ佛國政府ハ國民ニ對シ身體鍛鍊ノ義務ヲ規定セル法律ヲ制定セントシ又助成金ヲ設ケテ運動團體ノ獎勵策ヲ講シ且國民體質ノ改善ニ對シ大ニ地方廳ヲ督勵スル所アリ、又獨逸ハ柏林郊外ニ一大野外運動場ヲ設ケ專門學校ヲ併置シ之ヲ中心トシテ運動獎勵ノ氣運ヲ作興シ又政府ハ財政甚々窮乏セルニ拘ラス尙ホ補助金ヲ交付シテ地方ニ於ル這般ノ施設ヲ獎勵セリ、之ヲ要スルニ何レノ邦國ニ於テモ叙上ノ積極的保健増進政策ニヨリ國家將來ニ對シ周密ナル遠謀ヲ運ラサルハナシ

翻ツテ吾國民ノ體格及體力ヲ見ルニ歐米人ニ比シ著シク劣ル所アリ、殊ニ次代國民ノ母タル婦人ノ體格ノ劣弱ナルハ最モ寒心ニ禁ヘス、更ニ個人的及團體的動作上ノ能率ニ稽フルニ到底彼等ト比肩スヘカラサルハ何人モ否定シ得サル事實ニシテ之カ爲產業經濟其ノ他各般ノ國民的活動ニ於テ大ニ遜色アラントスルハ寔ニ遺憾ニ堪ヘス然ルニ國民ノ體質改善及體力ノ増進ニ關シテハ單ニ學校教育ニ關聯シテ幾分ノ施設ヲ見ルノミニシテ一般公衆ニ對シテハ何等劃切ナル公共的施設アルヲ見ズ、歐米列強今ヤ競ツテ國民保健事業ノ進展ヲ策シ就中體力ノ鍛鍊ニ關シ極力獎勵ヲ加ヘツ、其ノ實情ニ察スレハ一般國民ノ體位遙ニ劣弱ナル吾國ニ於テハ之カ方策ヲ樹テ國家トシテ其ノ嚮フベキ所ヲ明カニ



シ指導獎勵ノ途ヲ講スルハ最大喫緊事ニシテ實ニ吾民族將來ノ盛衰ニ關スル重要ナル案件ナリ幸ニシテ近時一般國民ノ運動熱漸ク勃興セントスルノ兆顯著ナルモノアリ今日ニ於テ之ヲ善導獎勵セバ其ノ前途ニ於テ光明ヲ認ムルコト決シテ難カラサルヘシト信ス政府ハ此際宜シク左記事項ヲ參酌シ運動施設ノ普及發達ニ關シ速ニ適切ナル處置ヲ講セラレシムルコトヲ望ム

左記

- 一、運動競技其他積極的體力増進施設ノ精神ヲ明カニシ之カ獎勵ノ必要ヲ廣ク一般國民ニ徹底セシムルコト
- 二、地方當局ヲ督勵シ運動場ノ設置其ノ他適當ノ施設ヲ爲サシム此等ニ對シ必要ナル助成金ヲ交付スルコト
- 三、官廳、會社、工場其ノ他公私團體ヲ勸奨シ其ノ従業員ノ爲運動ニ關スル施設ヲ普及セシムルコト
- 四、都市計劃ニ際シテハ人口關係等ニ照シ運動施設ニ付キ必ス考慮スルコト
- 五、各地方ニ於ケル本事業ノ計劃指導及獎勵ニ任スヘキ指導員養成講習會ヲ開催スルコト
- 六、地方廳其ノ他都市ニ指導員ノ設置並其ノ養成ヲ獎勵スルコト
- 七、優秀者ニ對シ賞牌授與其ノ他ノ表彰手段ヲ講シ以テ一般ノ運動精神ヲ鼓吹スルコト

- 八、青年團、處女會、婦人會、在郷軍人會等ニ對シ特ニ獎勵方法ヲ講スルコト
  - 九、適當ノ活動寫真フィルムヲ調製シ又ハパンフレット、ポスター等ヲ發行スルコト
  - 一〇、其ノ他必要ナル普及獎勵宣傳方法ヲ講スルコト
- 右保健衛生調査會總會ノ決議ニ依リ及建議候也

大正十一年十一月二十四日

保健衛生調査會長 水野鍊太郎

內務大臣 水野鍊太郎

保健衛生調査ニ關スル事業經過報告案ニ就テハ湯澤幹事ヨリ詳細説明スル所アリ滿場異議ナク之ヲ承認セリ

第一號議案ニ就テハ湯澤幹事ヨリ提案ノ理由ニツキ説明ノ後三宅委員ノ動議ニヨリ特別委員ヲ擧ケテ審議スルコトトナシ且ツ特別委員ハ會長ノ指名ニ決セリ而シテ後日會長ヨリ指名セラレタル特別委員ハ磐瀨委員外十三名ナリ(第三章乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル特別委員參照)

第二號議案ニ就テハ永井特別委員長ヨリ提案ノ理由ニツキ説明スル所アリ潮委員ノ動議ニヨリ二三修正ノ上之ヲ可決シ更ニ文案ノ整理ニツキ提案者ニ全權ヲ委任スルコトニ決シ後日整理ノ上内務大臣ニ建議セリ

正午散會

#### 第四節 特別委員會議事要項

##### 一、東京市ニ於ケル乳兒調査ニ關スル特別委員會

大正十一年十二月二十六日午後一時開會

出席者

瀨川 昌世 横手千代之助 野田 忠廣 龜田豊治朗 横山助成

幹事

湯澤三千男 小濱 淨鑑

東京市内赤坂區、本所區、日本橋區ニ於テ大正十年度來施行中ノ乳兒調査ニ關シ大正十二年度ニ於テモ續行スルヤ否ヤニツキ審議ノ結果從來ノ調査數ノミニテハ根據アル統計ヲ作製スル材料トシテ十分ナルヲ以テ更ニ十二年度ニ於テモ本調査ヲ續行スルコトニ決シ尙神田、四谷ノ二區ヲモ包含シテ調

査ヲ進メタシトノ希望決議ヲナシ午後三後閉會

##### 二、衛生思想普及ニ關スル特別委員會

衛生思想ノ普及ニ就テハ左記ニ依リ小冊子ノ編纂ヲ續行スルコトニ定メ

清潔 第一 北島 委員 膺「チブス」の豫防 内野 委員

寄生蟲の話 宮川 委員 運動の話 木下 東作

尙曩ニ特別委員中ヨリ三宅秀、横手千代之助、永井潜、佐伯矩、宮島幹之助ノ五氏ニ委囑シタル衛生讀本編纂ニ付テハ數次會議ノ結果左記分擔ヲ定メ更ニ各分擔事項ニツキ夫々要項ヲ提出シ次ノ通り審議決定セリ

##### 衛生讀本執筆擔任

- |            |         |           |       |
|------------|---------|-----------|-------|
| 第一篇 生命と自然界 | 永井 委員   | 第二篇 榮養と嗜好 | 佐伯 委員 |
| 第三篇 住居と被服  | 横手 委員   | 第四篇 活動と休養 | 永井 委員 |
| 第五篇 保健と鍛鍊  | 永井 委員   | 第六篇 保健の障害 | 宮島 委員 |
| 第七篇 民族の將來  | 三宅(秀)委員 |           |       |

##### 生命と自然界

一、自然界の精華

生命は自然の精華を鍾めて咲き出でたる美はしき花である、生命が如何に幽玄美妙な働きであるかを平易に述べる積りです、

二、人は萬物の靈長

美妙なる生命を有てる物の中でも特に人間が優れて居ることを解剖的生理的・心理的の諸點から力説して自己の尊き所以を知ることによつて人間として生れ出でたる喜と誇とを完うすべきことを述べたいと思ひます、

三、人の體と其の働き

人體の組み立と其の働きの有様を簡單に説明する積りです、

四、生の港から死の岸まで

一生涯の開展(出生—成長—發育—成熟—老衰)の順序を畧説し尙ほ新しき生命の創立に於て遺傳の重要な意味をも附加し轉じて民族としての生死即ち國民の生産率死亡率等の問題にも觸れたいと思ひます

五、自然界の恩惠

生命の成立に關して自然界との交渉を述べ空氣や水や食物や光線等の大切なる所以を語らうと思

ひます、

六、生命の擁護

種々なる生命の脅威に對して之を擁護し向上せしむる所以の梗概を總括的に述べやうと思ひます

榮養と嗜好

榮養と保健 Ⅱ 榮養と食糧 Ⅱ 調理と消化 Ⅱ 食糧の選擇 Ⅱ 保健的食糧 Ⅱ 過食と榮養不足の害 Ⅱ 菜食と肉食 Ⅱ 我國民の日常食物と缺點 Ⅱ 食物の保存法 Ⅱ 食物より來る危害(中毒、消化器傳染病、寄生蟲病) Ⅱ 果實 Ⅱ 嗜好品(必要、無害及有害の嗜好品) Ⅱ 飲料(アルコールヲ含ム)

住居と衣服

甲 住居

一、住居は何故必要か

社界的秩序を保つため、衛生上の要求、風雨を避くるため、體溫調節のため

二、住居に因る危害

空氣の不良となること……其原因と其影響……採光の不足……其影響……近視、室内の不潔とな

ること、日光射入の不足に因る諸種の害、傳染病の傳播を容易にする事、汚物排除の不備より起る害、隣家に及ぼす影響……建築條例の必要

三、家屋の構造は時と場合により異なるべき筈(建築條例の定め、都市部と農村部の別)熱、温、寒帯により、土地の状況……風や雨、材料供給の都合により夏冬により、市中と郊外に  
より

四、家屋に對する一般的要求

明るきこと、換氣のよきこと、夏涼しく冬温かきこと、乾燥、清潔、密居ならざること

五、敷地として如何なる處を選ぶか(住宅地、商業地、工業地、公園地、墓地、墓地(合))

清潔乾燥の土地、傾斜なれば南に傾斜(普通の場合)道路の方向并構造、樹木のあること(風を防ぐ装置……防風林其他、空氣のよき處、閑靜なる場所、住居地、工場地并に商買地域、理想的の土地ならざる場合の注意

六、給水上の注意

水は必要并に其の危険に就て、井戸に就て一般的の記述、水道の必要なること并に一般的記述

七、下水溝を造らねばならぬこと

下水の危害、吸込の不利益、地上溝の缺點、暗溝の畧述

八、家の主なる部分

壁……一般的衛生上の要求、濕りたる壁の危害(乾燥を要す)障子、襖の注意、床、畳、敷物、天

九、夏涼しくする方法(避暑の注意、避暑の注意)

暑さの害、涼しくするため家の構造に注意すること、主方向、壁、屋根、高さ等

一〇、冬の温室法

冬は何故にあたゝめねばならぬか、日光の利用と寒風の忌避、何度かよきか、火鉢や爐の利害、

一一、採光法(採光の注意、採光の注意)

煖爐の種類并に注意、煙突の注意、中央温室法に關する大意

a、何故明るあらねばならぬか……要する光度

b、晝間の採光法

c、夜間の採光

窓の大、高、形、硝子紙張等、天井、壁の色、天窓

人工採工に關する一般的の要求、其種類、衛生上の基礎より各燈の比較

一二、換氣の方法(換氣の注意、換氣の注意)……換氣の注意、換氣の注意

人工採工に關する一般的の要求、其種類、衛生上の基礎より各燈の比較、人工採工の注意、窓の